

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出87億円、子会社株式の取得による支出225億円等があり、投資によるキャッシュ・フローは389億円のマイナスとなりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは252億円のマイナス（前年同期は211億円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増加額101億円、長期借入金による収入100億円、配当金の支払い72億円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは124億円のプラス（前年同期は181億円のマイナス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降の世界経済を見通しますと、英国のEU離脱が景気に与える影響への懸念から為替相場では円高傾向が続くと想定されます。地域別には、雇用環境の改善を背景にした米国経済は相対的には堅調に推移すると思われませんが、世界経済全体としての減速傾向が強まると考えられます。

このような先行きの事業環境を踏まえ、当連結会計年度の業績見通しを以下のように修正いたします。なお、今回の業績予想の前提となる為替レートは、第2四半期連結会計期間以降、期初前提からユーロを5円円高に見直し[USドル：105円、ユーロ：115円]とします。

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正（2016年4月1日～2017年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 基本的 1株当たり 当期利益 |
|--------------------------|--------------|-----------|----------------------|----------------------|
| 前回発表予想 (A) | 億円 10,600 | 億円 660 | 億円 440 | 円 銭 88.80 |
| 今回修正予想 (B) | 10,300 | 550 | 360 | 72.65 |
| 増減額 (B-A) | △300 | △110 | △80 | — |
| 増減率 (%) | △2.8 | △16.7 | △18.2 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2016年3月期) | 10,317 | 600 | 319 | 64.39 |

(ご参考) 主要3セグメントの通期業績予想（2016年4月1日～2017年3月31日）

(単位：億円)

| | 前回発表予想 (A) | | 今回修正予想 (B) | | 増減額 (B-A) | |
|------------|------------|------|------------|------|-----------|------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 情報機器事業 | 8,300 | 680 | 8,100 | 620 | △200 | △60 |
| ヘルスケア事業 | 1,000 | 50 | 1,000 | 50 | — | — |
| 産業用材料・機器事業 | 1,250 | 220 | 1,150 | 170 | △100 | △50 |

(注) 売上高は、外部顧客への売上高であります。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は当社を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動など様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる可能性があります。

定性的情報における記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。